

## 2017 年度「研究者の横顔」谷口 博昭先生

### 1. 研究者になろうとしたきっかけ

医師として患者さん達の苦しむ姿に接して参りました。患者さんに一層寄り添うために「効果と QOL の高い新規がん治療法を研究開発する」という道を選択しました。

### 2. 助成研究の内容紹介

PRDM14 分子は‘がん細胞に発現する分子’で正常細胞に発現がなく、さらに‘がん細胞の薬剤耐性や遠隔転移’に関係します。PRDM14 分子の発現を siRNA により抑え込む治療法（核酸医薬品）の開発を行っています。siRNA の配列や血中安定性等の工夫、病変部位に siRNA を送り届けるナノマシン、を異なる分野の先生方と探求し、現在の PRDM14 核酸医薬品の開発に至りました。

### 3. 2 の将来に繋がる結果予想

治療選択肢が限られる難治性乳がんと膵がんの新規治療法の確立を目指します。

### 4. 全国の RFLJ 関係者に一言

研究助成に採択頂き御礼申し上げます。開発研究には多くの困難がございますが、それ以上の困難と闘っている患者さんに早く新薬を届けたく存じます。今後とも御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。